

藤田翁頌徳碑文記

～千代田稲荷神社境内に建つ～

藤田市五郎翁は、慶応元年(1865)大野村に生れた。生来、温厚篤実で、志操堅固、事に当たり労をいとわず、長じて公職に就くや、村民の信頼も篤かった。

明治の半ば、大野村の開拓は、まだ成果を挙げず、人々は困窮していた。翁は、この打開のため万難を排し、明治28年(1895)から翌年にかけて、溝を掘り、水田を開き、野菜、果物の栽培、馬匹の繁殖等、農事に関わる指導の役割を果たし、その功績は、枚挙にいとまがなく、度々善行功績を賞されたことにおいても知られる。

この碑は、翁が60歳をこえ、なお壮者の如きとき、村民有志が相い謀り、翁の偉業を後世に伝えようとしたものである。

昭和4年(1929)、建立した。

・碑文；北海道大学学長 南鷹次郎

・筆；北海道長官 沢田 牛麿

○説明板と漢文板設置・町教委



公職等

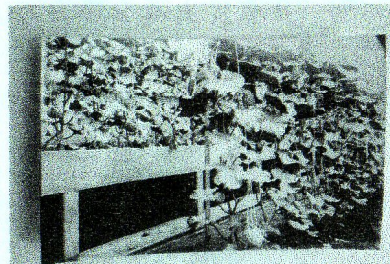
～村会議員を長く務める～

- 明治28年(1895)、学務委員
- 同33年、大野村最初の村会議員に当選(28年間在職)
- 同36年、函館税務署管内所得税調査委員
- 同38年、亀田・上磯郡農会議員並びに北海道農会議員
- 大正13年(1924)、小作調停委員
- 同15年、大野村信用組合長(昭和11年まで)
- 昭和2年(1927)、土地賃貸価格評価委員
- 同6年、渡島郡農会長(同10年まで)

開発功労者藤田市五郎翁(冊子)

大野村で作成した複写の冊子が残っている。

経歴、業績、頌徳碑文、そして数多くの表彰状の写しが載っている。市五郎の人物が了解できる。



翁経営に係る
温床の一部

ふじた いちごろう
藤田 市五郎

慶応元年～昭和18年

(1865) (1943)



本道西洋野菜栽培の草分け

◆問い合わせ 北斗市郷土資料館
041-1201 北斗市本町2丁目12番7号
(0138) 77-6681

大野文化財保護研究会

(略称；文保研・ぶんぽけん)

2010年5月